

チャノキイロアザミウマ情報第4号

令和元年8月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

ほ場周囲の生息数は平年に比べて多い状況が続いています。
ほ場での発生状況に注意し、適期に防除しましょう

1 発生状況

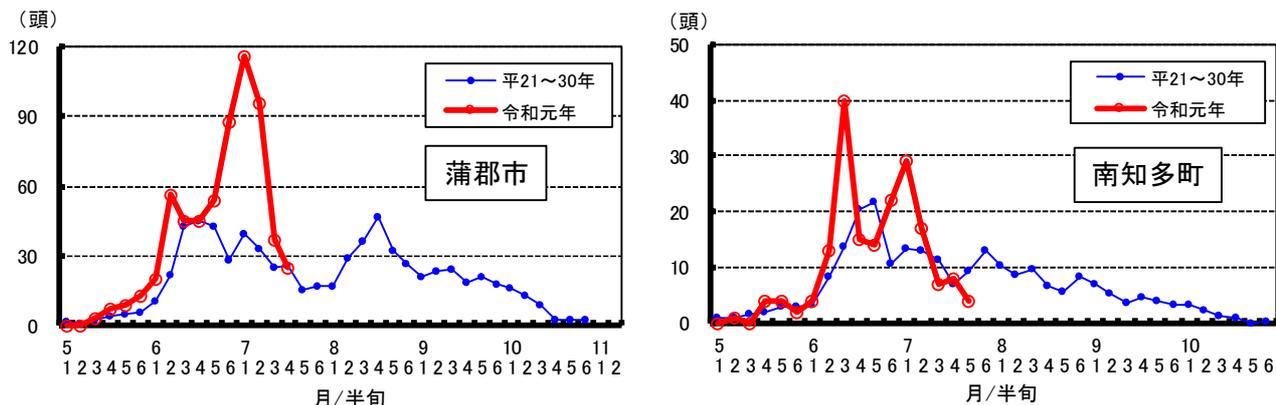


図1 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況（カンキツ）

カンキツほ場（蒲都市、南知多町）に設置した黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマの誘殺数は、7月上旬に第3世代成虫の発生ピークを迎えました。誘殺数は、蒲都市、南知多町ともに現在は平年並の状況です（図1）。

7月下旬に行ったほ場周囲における本種の生息数調査（カンキツ22ほ場のイヌマキ（防風垣）10新梢の払い落とし虫数）では20.82頭（平年6.85頭）で、過去10年で2番目に多い発生量となっています（図2）。

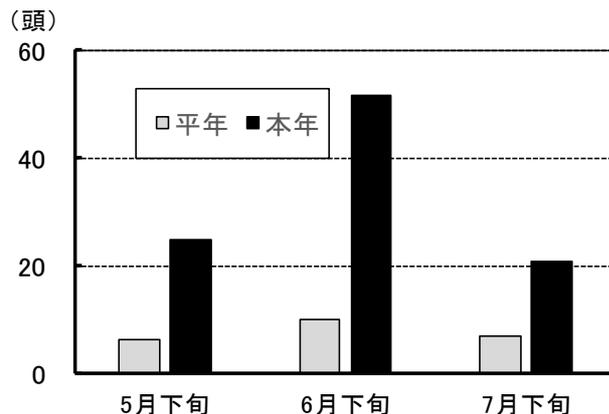


図2 カンキツほ場周囲のイヌマキ（防風垣）におけるチャノキイロアザミウマ生息数

2 発生ピークの予測と防除

第5世代成虫の発生ピーク予測日（稲武を除く）は、前年より5日から9日遅く、8月11日から22日です（表）。カンキツでは、この時期に加害されると果頂部に被害が出ます。防除適期である成虫の発生ピーク時に防除を実施しましょう。

表 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	南知多	名古屋	豊田	大府	岡崎	蒲郡	豊橋	伊良湖	新城	稲武 [※]
第4世代	7/30	7/31	7/25	7/30	7/26	8/1	7/31	7/30	7/30	8/4	8/4
第5世代	8/16	8/17	8/11	8/17	8/14	8/18	8/17	8/16	8/16	8/22	8/26
（前年）	8/11	8/8	8/6	8/12	8/6	8/10	8/8	8/8	8/8	8/14	7/25 [※]
前年差	5日遅	9日遅	5日遅	5日遅	8日遅	8日遅	9日遅	8日遅	8日遅	8日遅	10日遅 [※]
第6世代	9/2	9/5	8/28	9/4	8/31	9/5	9/4	9/3	9/3	9/10	-

各地域のアメダス平均気温から有効積算温度を利用して予測。

※稲武については、第3世代ピーク日および前年との差を記載。

8月1日までは実測値を、それ以降は平年値（豊橋、大府は前年値）を用いて計算。